



株式会社 弘新建設

平成30年度環境活動レポート
(対象期間:平成30年4月～平成31年3月)



作成日:令和元年10月

I 環境方針

[環境理念]

株式会社 弘新建設は、地元弘前を発祥とし、地域のインフラ整備、発展の為に尽力して参りました。この豊かな自然を後世に伝えていく為に環境問題への対応が喫緊の課題であるという認識を持ち、建設業に係る事業活動において、環境負荷の低減を図るため、環境保護活動の継続的改善に努め、生物多様性を考慮し、「環境保護と経済活動の両立」する持続可能な社会の実現に全社一丸となって自主的、積極的に取り組む事を誓約します。

[環境への行動方針]

- 1.低炭素社会実現の為に、二酸化炭素排出削減に取り組みます
- 2.建設副産物のリサイクルを推進し、廃棄物削減に取り組みます
- 3.水使用量と排水量の適正な管理に取り組みます
- 4.化学物質の適正な管理と処理に取り組みます
- 5.現場においては資材、事務所においては備品等のグリーン購入に取り組みます
- 6.現場において環境に配慮した工法の早期確立と重機類の省エネ運転に取り組みます
- 7.環境関連法規、その他の要求事項の遵守に取り組みます
- 8.環境経営マネジメントシステムを構築し、継続的かつ持続的な環境保全活動に取り組みます

作成日：平成28年10月1日
更新日：平成 年 月 日

株式会社 弘新建設
代表取締役 工藤 武

II 組織の概要

1.名称及び代表者名

株式会社 弘新建設 代表取締役 工藤 武

2.所在地

本 社 青森県弘前市大字神田1丁目4番地1

3.環境管理責任者及び事務局連絡先

環境管理責任者	常務取締役:相馬 正樹	TEL	0172-37-3329
環境事務局	総務 課長:田代 慎一	TEL	0172-37-3329

4.事業活動の内容

特定建設業の許可

許可番号

青森県知事 (特-27)第 11118号

建設業の種類

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業
しゅんせつ工事業、塗装工事業、造園工事業、水道施設工事業
解体工事業

5.事業の規模

工事等の件数	370件
資本金	2,000万円
売上高	15億25百万円(平成30年度)
従業員数	33人
事業所の床面積	191.24㎡
資機材置場敷地面積	1,874.63㎡

一級建築士:1名

1級土木施工管理技士:7名

2級土木施工管理技士:5名

1級建築施工管理技士:6名

2級建築施工管理技士:1名

1級造園施工管理技士:2名

2級造園施工管理技士:1名

1級建設機械施工技士:1名

2級建設機械施工技士:6名

1級建設業経理士:1名

2級建設業経理士:1名

6.対象範囲(認証・登録範囲)

株式会社 弘新建設のすべての事業活動及び組織を対象範囲とします。

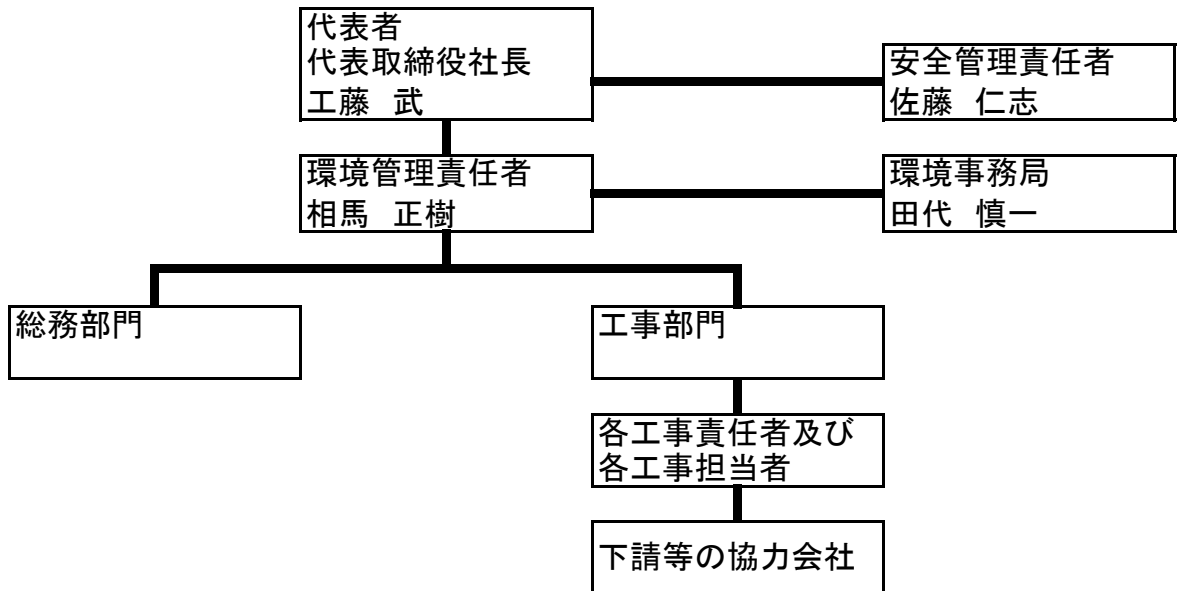
7.事業年度

4/1~3/31を1事業年度とします。

8.環境活動レポートの対象期間(発行日)

平成30年4月1日~平成31年3月31日(発行日:令和元年10月1日)

<組織図>



<役割分担表>

担当	各自の責任と役割
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人材・設備・費用・時間・技能・技術者の準備 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書の承認 ・全体評価と見直しの実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・実施・維持管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境目標・環境活動計画書の確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画原案の作成 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成及び公開 ・緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施、記録の作成
各部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施
各工事責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の適正管理 ・現場における緊急事態への対応のための訓練の実施、記録の作成 ・現場における従業員及び下請等の協力会社への環境方針の周知
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

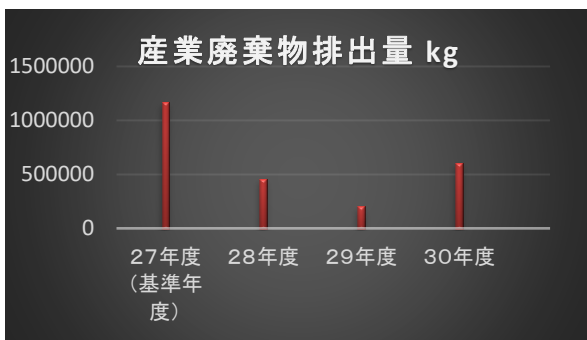
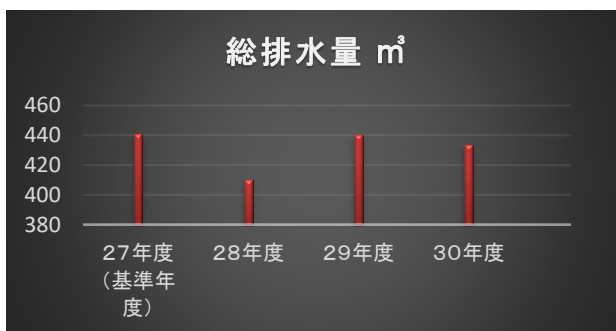
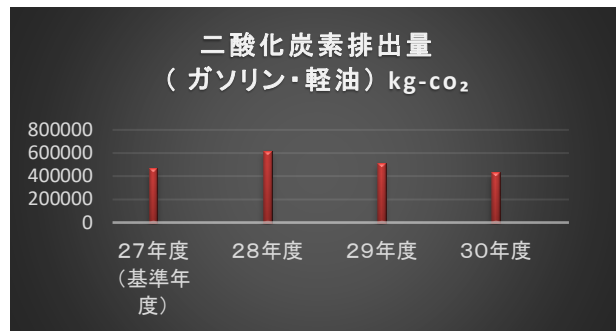
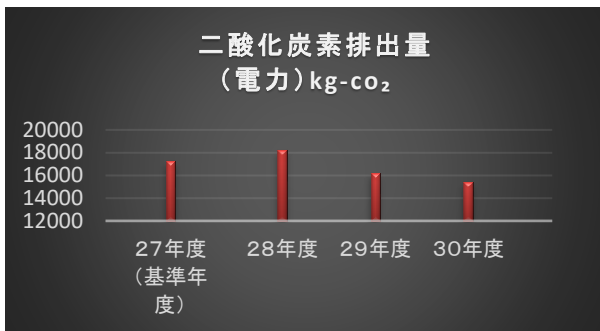
Ⅲ 環境目標とその実績

1 主な環境負荷の実績

表1.主な環境負荷の実績(事務所及び建設現場)

項目	単位	27年度 (基準年度)	28年度	29年度	30年度	
二酸化炭素排出量	電力	kg-CO ₂	17,222	18,214	16,152	15,382
	ガソリン・軽油	kg-CO ₂	465,712	617,027	516,247	431,971
	灯油・LPG	kg-CO ₂	19,246	42,237	23,039	18,602
一般廃棄物排出量	kg	-	-	1,169	1,094	
産業廃棄物排出量	kg	1,171,000	457,600	205,380	604,360	
総排水量	m ³	441	410	440	433	
化学物質使用量	kg	0	0	0	5	
グリーン購入量	万円	-	-	4	7	

二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.571kg-CO₂/KWhです。(28年提出用)
表中の「-」は数量として把握できていません。



2 環境目標の設定

当社では平成27年度実績値を基準として中長期及び単年度の環境目標を表2の通り設定し、環境負荷の削減等に取り組んでおります。

表2.環境目標(事務所及び建設現場)
基準値に対する削減(増加)率(%)を示す

項目	平成27年度 基準値	単位	単年度目標			中長期目標
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成28~30年 度
二酸化炭素排出量	502,184	kg-CO ₂	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
一般廃棄物排出量	H29年度 1,169	kg/年	-	-	1%削減	1%削減
再資源化率	99.5	%	100	100	100	100
総排水量	441	m ³	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
化学物質使用量			化学物質を適正に管理し、定期的に確認する			
グリーン購入量			環境に配慮した製品を優先的に購入する			
自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目			環境に配慮した施工・工法を推進する			
地域貢献活動			建設現場等での地域貢献活動へ積極的に参加する			

3 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

表3.1環境目標の実績(事務所及び建設現場)

項目	単位	基準値: 平成27年度	当該年度(平成30年度)			環境目標 の達成状 況	
			削減(増 加)率(%)	目標値	実績値		
二酸化炭素排出量	電力	kg-CO ₂	17,222	3%削減	16,705	15,382	○
	ガソリン・軽油	kg-CO ₂	465,712	3%削減	451,741	431,971	○
	灯油・LPG	kg-CO ₂	19,246	3%削減	18,669	18,602	○
	合計	kg-CO ₂	502,180	3%削減	487,115	465,955	○
一般廃棄物排出量	kg	H29年度 1,169	-	1,157	1,094	○	
再資源化率	%	100	100	100	100	○	
総排水量	m ³	441	3%削減	428	433	×	
化学物質使用量	kg	0	化学物質を適正に管理し、定期的に確認する		5	○	
グリーン購入量	万円	-	環境に配慮した製品を優先的に購入する		7	○	
自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目	件	0	環境に配慮した施工・工法を推進する		0	-	
地域貢献活動	件	0	建設現場等での地域貢献活動へ積極的に参加する		3	-	

二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.571kg-CO₂/KWhです。

表3.1.1環境目標の実績(事務所)

項目	単位	基準値: 平成27年度	当該年度(平成30年度)			環境目標 の達成状 況	
			削減(増 加)率(%)	目標値	実績値		
二酸化 炭素排 出量	電力	kg-CO ₂	17,222	3%削減	16,705	15,382	○
	ガソリン・軽油	kg-CO ₂	-	-	-	-	-
	灯油・LPG	kg-CO ₂	19,246	3%削減	18,669	18,602	○
	合計	kg-CO ₂	36,468	3%削減	35,374	33,984	○
一般廃棄物排出量	kg	H29年度 1,169	-	1,157	1,094	○	
再資源化率	%	-	-	-	-	-	
総排水量	m ³	441	3%削減	428	433	×	
化学物質使用量	kg	0	化学物質を適正に管理し、定期的 に確認する			0	-
グリーン購入量	万円	-	環境に配慮した製品を優先的 に購入する			7	-
自らが施工・販売・提供する製品及び サービスに関する項目	件	0	環境に配慮した施工・工法 を推進する			0	-
地域貢献活動	件	0	建設現場等での地域貢献 活動へ積極的に参加する			3	-

二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.571kg-CO₂/KWhです。

表3.1.2環境目標の実績(建設現場)

項目	単位	基準値: 平成27年度	当該年度(平成30年度)			環境目標 の達成状 況	
			削減(増 加)率(%)	目標値	実績値		
二酸化 炭素排 出量	電力	kg-CO ₂	-	-	-	-	
	ガソリン・軽油	kg-CO ₂	465,712	3%削減	451,741	431,971	○
	灯油・LPG	kg-CO ₂	-	-	-	-	-
	合計	kg-CO ₂	465,712	-	451,741	431,971	○
一般廃棄物排出量	kg	-	建設現場で発生した一般廃棄物 は事務所で処理しています			-	-
再資源化率	%	100	100	100	100	○	
総排水量	m ³	-	-	-	0	-	
化学物質使用量	kg	0	化学物質を適正に管理し、定期的 に確認する			5	-
グリーン購入量	万円	-	環境に配慮した製品を優先的 に購入する			-	-
自らが施工・販売・提供する製品及び サービスに関する項目	件	0	環境に配慮した施工・工法 を推進する			0	-
地域貢献活動	件	0	建設現場等での地域貢献 活動へ積極的に参加する			0	-

二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.571kg-CO₂/KWhです。

IV 環境活動計画、取り組み結果とその評価、次年度の取組内容

1.環境活動計画、取り組み結果とその評価

環境活動計画については、単年度の環境目標に対応した具体的な取組の内容(達成手段)を表4の通り作成した。
 なお、それぞれの計画の責任者と担当者及びスケジュールを定め確実な実行に努めております。

表4 主な環境活動計画の内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組結果・次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素の削減	①事務室等の昼休み残業時不必要な時は消灯している	○	消灯の取組は定着している。日頃の節電についてもさらに意識の向上を図っていく。次年度以降も引き続き継続していく。
		②空調機器の適温化(冷房28℃程度)を徹底している	△	
		③休日、夜間はOA機器、パソコンの主電源を切る	○	
		④廊下、休憩所、トイレの照明は使用時のみの点灯をしている	○	
	建設機械・車両等の二酸化炭素削減	①エコドライブ等運転方法の配慮(急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等)を励行している	○	新規入場者教育やミーティング時に周知徹底することで徐々に意識は高まってきているが、今後も掲示物や教育・訓練等により継続的な意識の高揚に取り組んでいく。
		②アイドリングストップの励行	○	
		③建設機械等は定期的な自主検査をするとともに、作業前には点検を徹底している	○	
		④建設機械等は極端な負荷のかからない運転を心がけている	○	
		⑤運搬車両等は、過積載が行われないよう徹底している	○	
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	①暖房温度(暖房20℃程度)の設定を管理している	△	急激な温度変化に対応できない時は暖房温度が高めに設定されることがあった。今後は気温予報等から社員に早めにアナウンスして対応をとるように心がける。
		②冬期間の重ね着等服装の工夫をして暖房の使用を抑える	○	
		③ブラインドの利用等により、熱の出入りを調整している	○	
④コンロ、湯沸かし器の長時間使用を避ける		○		
廃棄物排出量削減	廃棄物の発生抑制	①両面印刷、両面コピーを心がけてごみの発生を抑制する	○	紙のリサイクルもかなり達成できてきた。さらなる意識の向上を目指す。
		②印刷時の確認を心がけ、ミスプリントを減らす	○	
		③裏紙を再使用する	○	
		④詰め替え可能な製品の利用や備品等の修理により、製品等の長期使用を進めている	△	
		⑤建設資材発注時に使用数量を再チェックし、残余資材の廃棄を抑制している	○	
	リサイクルの促進	①ごみの分別回収を徹底している	○	ごみは正しく分別回収できている。これからも継続して徹底を図っていく。
		②弘前地区オフィス町内会に参加し、古紙類のリサイクルを徹底している	○	
③現場で発生する廃棄物を混合廃棄物としないよう徹底している		○		
④シュレッダーの使用を機密文書に限定している		○		
産業廃棄物の適正処理	①廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行っている	○	適正な処分が出来ており、混合廃棄物は無かった。引き続き再資源化に取り組んでいく。	
総排水量削減	①手洗い時、洗い物においては日常的に節水を心がけている	○	各自節水への心がけはできている。今後も継続して取り組んでいく。	
	②建設機械等を洗車する場合は、泥等を落としてから行う	○		
	③水道管からの漏水がないか定期的に点検・確認している	△		
化学物質の管理	①建設現場における化学物質は必要最小限の使用とし、保管は原則行わないようにしている	○	化学物質を利用する現場はなかった。今後利用する現場においても管理は徹底していく。	
	②有毒性の化学物質の流出や拡散の防止対策を徹底している	○		
グリーン購入	①エコマーク表示の事務用品の購入	○	コピー用紙、トイレトーパー等エコ製品の購入が見られた。今後も種類を増やし優先的に購入していく。	
	②再生材から作られた製品等を優先的に購入し、使用している	○		
環境に配慮した製品、サービス等	①建設現場における再生材の積極的利用	○	再生砕石、再生アスファルト合材等を積極的に購入しており、次年度以降も継続していく。	
・環境コミュニケーション ・地域貢献活動他	①事務所、現場周辺の清掃活動	○	河川等の清掃活動の機会を増やし、継続していく。	
	②地域のボランティア活動に積極的に参加し、協力や支援を行っている	○	水辺サポートや地域の清掃活動等ボランティア活動を積極的に実施した。今後も引き続き活動を継続していく。	

○:評価できる、△:まずまず評価できる、×:評価できない

V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される建設リサイクル法等環境関連法規の遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。
また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について問題はありません。

VI 代表者による全体評価と見直しの結果

意識が向上したため目標値に達しないのは排水量だけであった。
エネルギー関連の消費量も削減できており、実績としてはまずまずと感じられた。
今後も現場の状況には左右されると思うが、引き続き指導を行っていく。
中期目標である3年を経過したが、社員や協力業者にも浸透してきたように感じられる。
また、次年度は基準値及び目標を設定し直す必要があるので、精査して決定したい。
まだ、取り組みが不足しているところをしっかりと認識し、時間がかかってもPDCAサイクルに基づいて改善を促していく。

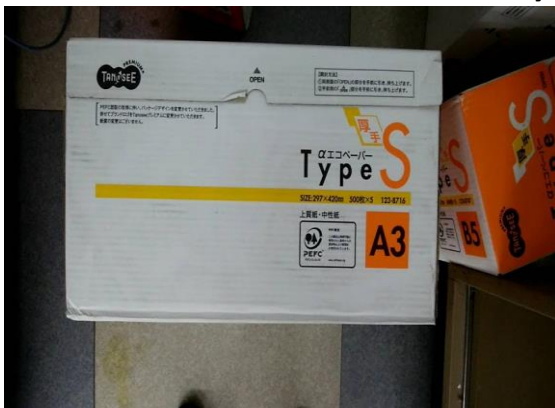
2.環境活動の状況



ボランティア清掃



水辺サポーター



環境に配慮したコピー用紙の利用



教育状況



節電アクション



節水アクション